

## 私の夢～開発教育×キャリア教育～

学校名：立命館宇治中学校・高等学校  
名前：酒井 淳平（数学）  
実践教科：総合的な学習の時間・数学

指導時数：4時間  
対象学年：高校2年生  
対象人数：20人

### 1. 教師海外研修を通して感じたこと

「行った人にしかわからないことがある」このことを強く感じる研修でした。このような機会をいただけたことに感謝しています。

開発途上国に行くのは初めてで、村でのホームステイからカルチャーショックの連続でした。でもだからこそ、幸せって何だろう？日本ってどうなんだろう？ということについて日々深く考えました。一緒に行った先生方と毎日語り合う中で、自分の思いはより深まっていきました。

本研修でサモアの教育現場にふれることで、数学や教育の重要性を痛感しました。数学が世界共通であることも改めて実感しました。教師海外研修には「働くことについての夢を育てる授業を作り、生徒の夢を育てたい」と思って参加しました。研修に参加し授業を通して生徒の夢を育てることも少しはできたと思っています。でもそれ以上に自分自身が、教師という仕事や数学という教科に大きな夢を持つことができたように感じています。

### 2. カリキュラム

#### (1) 実践の目的・背景

本授業を実践するクラスの生徒たちは、昨年度7月末～今年度6月まで海外(アメリカまたはカナダ)に留学していた生徒たちである。高校入学時にそうしたコースを選んだ生徒たちであり、海外や国際的な問題への興味も強く、将来は世界で活躍したいとの思いを持っている。しかし、世界で活躍する＝英語というレベルでの意識でしかないことも事実で、世界の諸問題に対して、自分が「働く」ということを通して何ができるのかについてはまだまだイメージしにくいという実態がある。今回の授業を通して「自分と世界とのかかわりを考えること」はもちろん、「日本が世界の中で果たしている役割」「働くことが社会を良くしていくこと」を実感させ、自分の将来についても具体的に考えさせたい。「一歩動く大切さ」「働くことの意味」「今後自分にとって必要な力・経験を考える」「自己実現」も授業全体を通してのキーワードとしたい。

#### (2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
<b>1 時限目</b> サモアを知ろう！ * サモアに興味を持つ。 * 開発途上国にまで視野を広げる。 * 「物」を通して、世界のつながりを感じる。	①写真や歌、地図などからサモアを知る。 ②サモアについてのクイズ（対抗戦）。 内容は「村の生活（プール含む）、ウム料理、宗教、サモアの都会、学校の様子、サモアに関するモノ」など。 ③サモアにある日本や他国のものから、サモアと日本や世界とのつながりについて知る。	●パワーポイントで作成したスライド ●サモアの歌 ●ラバラバ、カバ（入れ物、粉両方）、ビニール袋などサモアの物

<p><b>2 時限目</b> 働くということ</p> <p>* JICA の事業、日本が海外で果たしている役割を理解する。 * 働くことで社会をよりよいものにしていくという側面に気づく。</p>	<p>① JICA の事業を紹介する。 ・サモアで見てきたことを話す。 ・JICA プロファイル(パンフレット)を配布し、説明</p> <p>②以下の素材を参考にしながら人が働く理由について考える。 ・サモアにいる人たちのインタビュー映像 ・サモアで出会った人の話 ・サモアの子どもたちがつきたい職業 ・映像「人であふれた駐車場」</p>	<p>●パワーポイントで作成したスライド ●JICA PROFILE ●「人であふれた駐車場」(映像) ●サモアでのインタビュー映像 ●ワークシート</p>
<p><b>3 時限目</b> サモアをよりよい国にするために</p> <p>* 働くことのイメージをふくらませる。 * 国の開発課題を解決する方法を考える。 * 自分の仕事の好みに気づく。</p>	<p>①映像「レジ打ち女性」を見て、働くことについてもう一度考える。 ②「サモアをもっとよくしよう！」ワーク。 ・サモアの開発課題について説明 ・サモアの開発課題を働くことで解決する方法を考えるプレーストリーミング ③②のアイデアから自分のしたいことを選ぶ。 ★働くことについての自分の夢を書いてくることを宿題とする。</p>	<p>●パワーポイントで作成したスライド ●「レジ打ち女性」(映像) ●仕事カタログ ●青年海外協力隊の職種一覧 ●サモアの国家開発戦略 ●ワークシート</p>
<p><b>4 時限目</b> 私の夢</p> <p>* 働くことについて、自分なりの夢を描く。 * 夢へ近づくため、今後つけるべき力、やるべき経験に気づく。 * 一歩動く大切さを強く感じる。</p>	<p>①サモアの子どもたちの思いについて知る。(ほしいもの、大切なもの) ②夢へアプローチする2つの方法を説明 1) イチロー型(夢を追い一直線) 2) 川畑さん型(目の前のことを頑張る) ③夢に近づくために、自分にこれから必要なことを考える。 ④まとめのメッセージを聞き、今後の自分の挑戦を書く。</p>	<p>●パワーポイントで作成したスライド ●サモアで実施したダイヤモンドランキング、短冊(集計したもの) ●ワークシート</p>

### 3. 授業の詳細

#### 1 時限目：サモアを知ろう！

ねらい…サモアに興味を持つ。

##### ◆内容◆

- ① 写真や歌、地図などからサモアを知る。
- ② サモアについてのクイズからサモアを知る。グループ対抗戦で行う。

👉👉がポイント!

クイズ形式でグループ対抗にすることで、生徒たちがよりサモアに興味を持ち、授業にも主体的に参加できる。

- ③ サモアにある日本や他国のものから、サモアと日本や世界とのつながりについて知る。

生徒の反応

- ▶ 写真で見るきれいな景色に歓声を上げていた。クイズ形式ということに加えて、サモアの写真、サモアのモノをふんだんに取り入れたので、大変興味深く授業に参加していた。



村のプール



サモアの海

## 生徒の感想

- ▶ サモアは開発途上国って聞いたので何もなくして不便な生活かなと思ったが、自然がきれいで、人々は楽しそうに暮らしていてびっくりした。
- ▶ 海外から入ってきた商品や企業がサモアにどんな影響を与えているのか疑問に思った。観光地なのか他の産業で国が成り立っているのかも知りたい。

## 2 時限目：働くということ

ねらい…働くことについて深く考え、働くことで社会をよくしていくということ、働くことで自分を社会の中で役立てるという側面に気づく。

### ◆内容◆

- ① JICA の事業紹介。
  - ・ サモアで見えてきた JICA による開発援助・各種事業について知る。
  - ・ JICA プロファイルから JICA の事業について知る。日本のサモアへの援助についても知る。
- ② 「人は何のために働くのか」「自分は何のために働くのか」それぞれについて考える。
- ③ サモアで働いている日本人のメッセージから、その人たちの働く理由を考える。
- ④ サモアで出会ったサモア人の働く理由、サモアの子どもたちがなりたい職業とその理由を知り、働く理由のイメージを広げる。
- ⑤ 「何のために働くのか」について新しく気がついたことを書く。
- ⑥ スワンベーカーリー（\*）について知る。代表取締役、海津歩氏の言葉から働く理由を考える。
- ⑦ 「何のために働くのか」について新しく気がついたことを書く。
- ⑧ 「人であふれた駐車場」の映像を見る。
- ⑨ 自分はなぜ働くのか、どんな働き方をしたいのか考える。

（\*）スワンベーカーリーとは、パン製造販売を行うフランチャイズチェーン。運営目的の主旨は障害者の雇用、自立支援（従業員の過半数は軽度の障害がある）。「公益財団法人ヤマト福祉財団」元理事長小倉昌男が設立した。



気象観測施設

### 👁️🗨️がポイント!

「働く理由」についていろいろな素材（サモアの人、日本の例など）を用意し、幅広い人の考えにふれさせながら、何度も問いかけることで、考えが深まっていく。

## 生徒の反応

働く理由について最初は「お金を稼ぐ」以外はあまりかけないようだった。しかしサモアで働く日本人やサモアの子どもたちなど多くの人の考えに接する中でイメージが膨らんでいった。最終的には全員が自分の働く理由を数多く書いていた。

## 生徒の感想

- ▶ 改めて仕事やいろいろな人の考え方が知れて、自分の考えと異なっていてびっくりした。
- ▶ 何で働くのか、何のために働くのかを真剣に考えさせられた。普段あまり考えないことなので、よく考えることができた。
- ▶ 仕事はそれぞれの人にとって違うものだけれども、大変なだけでなく喜びや楽しさがつまんでいると感じた。

●生徒が書いた「自分はなぜ働くのか?」「どんな働き方をしたいのか?」(一例)

- ・生きていくため働く。それで自分の好きなことに関われたら幸せだと思う。自分の仕事で社会に貢献できると良いと思う。
- ・誰かを助けるために働きたいです。それが自分の喜びにもなるし、いつも笑顔で働きたい。
- ・自分が興味のある仕事をやりたい。でもそうした仕事をすべての人ができるわけではない。でもその仕事を楽しむか楽しまないかという姿勢の違いによって人との関係や自分自身の仕事のやりがいも変わってくると思う。だから自分のできることを楽しんでやっていきたい。

### 3 時限目：サモアをよりよい国にするために

ねらい…働くことが社会貢献や自己実現にもつながることを知り、国の開発課題に対して仕事で解決する方法を考える。  
自分の仕事の好みや、自分が将来やりたいことに気づく。

◆内容◆

- ① サモアのゴミ処理施設で働く日本人からのメッセージを聞き、「レジ打ち女性」の映像を見て、前時のふりかえりをする。  
生徒の質問にも答え、サモアのことを思い出せるようにする。
- ② サモアの開発課題について知る。
- ③ 開発援助の現場(ディーゼル発電所)での例から、国の開発課題を働くことで解決することについて知る。
- ④ 練習問題。サモアの開発課題「Healthy Samoa」を働くことで解決する方法を考える。
- ⑤ プレーンストーミング。2人一組になり、青年海外協力隊の職種や仕事カタログを参考にしながら、サモアの開発課題を働くことで解決する方法をなるべく多く考える。



ディーゼル発電所

👉👉がポイント!

開発課題を働くことで解決するという難しい問いを考えるので、いきなりペアで考えさせるのではなく、準備が重要。ここでは準備として、前の時間のふりかえり、ヒントになるような映像を見せる、全員で練習問題に取り組むということを行った。

- ⑥ ⑤で出たアイデアから自分が仕事としてしたいことは何かを考える。
- ⑦ (宿題提示) 次の3つについて考える。
  1. 自分は何のために働きたいのか。
  2. 自分は将来どんな分野でどのように働きたいのか。
  3. 自分は働くことで誰を幸せにしたいのか。

生徒の  
反応

こんな仕事があるんだ、この仕事はおもしろそうなどと言いながら楽しそうに取り組み、平均20個以上のアイデアを出せた。

生徒の  
感想

- ▶ サモアという国のためにどんな仕事ができるのかを考えるのは有意義だった。自分がどのような仕事をすれば社会に貢献できるかを考えたい。
- ▶ 日本の技術がサモアの開発課題を改善できるかもしれないということを知りました。

## 4 時限目：私の夢

ねらい…働くことについて、自分なりの夢を描く。  
夢を実現させるために、今後つけるべき力、やるべき経験に気づき、  
一歩動く大切さを感じる。

### ◆内容◆

- ① サモアの子どもたちの夢について知る。
- ② サモアの子どもたちの価値観（大切にしているもの）を知る。  
同時に自分たちの価値観に気づく。
- ③ 働くことについての自分の夢を確認する。
- ④ 夢への2通りのアプローチについて知る。（イチロー型、川畑さん型）
- ⑤ 夢に近づくために今後つける力、やるべき経験を考える。
- ⑥ サモアで出会った JICA 関係者からのメッセージを聞く。
- ⑦ 一歩踏み出して働くことの大切さを伝える。



モアタア小学校の子どもたち

### 👉👉がポイント!

生徒たちはまだ高校生で、これからいろいろな経験をできる。夢へ近づくために、今後何が必要かを考えさせるのが重要。また目の前のことに一生懸命取り組むことから夢が育つということも忘れず伝えたい。これらはまさにキャリアデザインの考え方である。自分から行動に移さないと何もはじまらないので、一歩動く大切さも忘れずに伝える。これは自分自身本研修に参加できたことを振り返ったとき痛感したことでもある。

### ⑧ まとめのレポート記入

#### ●生徒が今後の挑戦として書いたことの例

- ・勉強を頑張る。希望している進路の実現へ向けて頑張る。
- ・まず目の前にあるできることをどんどんやっていく。思い切って挑戦してみる。
- ・視野を広げるため、アンテナを張るため新しいことに取り組みたい。高校でも大学でも学校でのプロジェクトとかいろんなことに参加する。人の輪を広げたい。

#### 生徒の感想

- ▶ サモアについてまったく知らなかったけど、すごく興味を持てた。今回はサモアだったけど、もっといろんな国のことが知りたいと思った。
- ▶ この授業を通して働く意味が少しははっきりした気がする。
- ▶ おもしろかった。サモアのことだけでなく、自分の将来の仕事についての考え方などすごく参考になりました。
- ▶ 自分が今できることを探したいと思った。夢を持ち、それに向かって努力していきたい。
- ▶ どうすれば自分の夢に近づくのかを知れてよかった。働くことの大切さや、それがまわりにどういう影響を与えるのかわかってよかった。働くことについての考えが変わった。

## 4. 成果と課題

授業後のアンケートで「なぜ働くのかについて理解できた」「働くことについてのイメージが広がった」「自分の将来のことについて考えた」という質問に対してほぼ全員が肯定的に答えていた。「一歩踏み出すことの重要性」については80%近い生徒が「大変強く感じた」と答えていた。「ずっと高校生でいたいって思っていたけど、自分が大学生や社会人になったらもっとできることが増えるだろうし、楽しそうって思うようになった」と書いていた生徒もいて、これこそ大人が生徒たちに伝えないといけないことだと感じた。

アンケート結果からも、授業での様子からも、本研修に参加する目的であった「開発教育とキャリア教育をつないで、働くことについての夢を育てる授業を作り、生徒の夢を育てる」ということは一定達成できたと思う。生徒たちはサモアについて大変興味を持ち、毎時間の授業をとっても楽しみにしていた。日本の開発援助や世界のつながりについても、より理解できたようである。そしてこの授業は私が実際にサモアに行ったからこそできたものであり、「行った人にしかできないことがある」ということを強く感じている。

もちろん、国の開発課題を仕事で解決するところではもう少し時間の余裕が必要など、授業全体を通しての改善点・課題はある。しかし、今後の生徒たちにこの授業で学んだことがどのように活かされていくのかということを経後の課題としたい。生徒の将来の活躍を楽しみにしつつ、これからも生徒の夢を育てることのできる教師でいたいと思う。

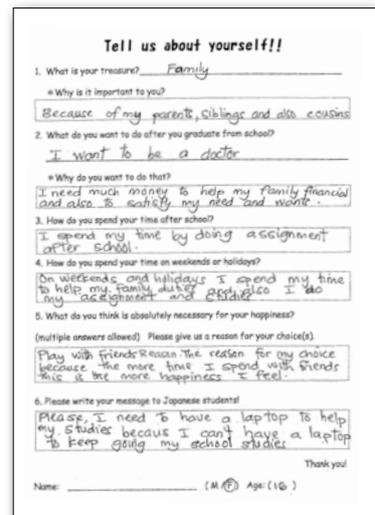
### 参考文献

「未来をつくる企業内イノベーターたち」近代セールス社

### 参考ホームページ

- <http://www2.aia.pref.aichi.jp/topj/indexj.html>  
(愛知県国際交流協会、わたしたちの地球と未来)
- <http://www.mof.gov.ws/Portals/195/Services/Economy/SDS%202012%20-%202016%20ENGLISH%20VER>  
(サモアの開発課題)
- [http://www.d1.dion.ne.jp/~kshigeta/hataraku\\_imi.htm](http://www.d1.dion.ne.jp/~kshigeta/hataraku_imi.htm) SION.pdf  
(働く意味がわからない人のために)
- <http://www.youtube.com/watch?v=eJw-W2Ja1ho>  
(人であふれた駐車場 (映像))
- <http://www.youtube.com/watch?v=2M08p9leBio>  
(レジ打ちの女性 (映像))

### 参考資料



サモアで実施したアンケート



2回目授業ワークシート



プレストシート



ラスト授業ワークシート